

系 統	超速硬軽量ポリマーセメントモルタル
特 長	1) 1時間で約5N/mm ² 程度の圧縮強度が得られる。 2) 天井面でも約30mm/1層の厚付けが可能。 3) プライマーは不要であり、水打ち処理を基本とする。
用 途	1) 作業時間の限られる工事での断面修復材 2) 調査時のはつり跡、コアボーリング跡の断面修復材
配 合 比	ライオンGRLC-J：水：凝結遅延剤(ジエトセッター) = 100 : 2.2 (標準) : 適宜

材料名	1袋当たりの使用量	1m ³ 当たりの使用量
GRLC-J 粉体	10 kg (1袋)	1271 kg
練り混ぜ水	2.2 (2.1~2.3) kg	280 (267~292) kg
凝結遅延剤	可使時間欄参照	0~3.9 kg
合 計	約7.9 (0.0079m ³)	1000 (1.0m ³)

荷 姿 10 kg / 袋

可 使 時 間

凝結遅延剤(ジエトセッター)添加量と可使時間

気温 ()	冬 (W) タイプ			夏 (S) タイプ		
	5	10	20	15(参考)	20	30
1袋あたり(g) (小さじ換算)	0	0~5 (0~1杯)	10~30 (2~6杯)	0	0~10 (0~2杯)	15~30 (3~6杯)
可使時間(分)	35~45	25~35	20~25	30~40	25~35	20~30

凝結遅延剤(ジエトセッター)添加量：GRLC-J 10kg あたりの添加量。 小さじ1杯=5gを目安とする。

貯蔵保証期間 3か月 (未使用、冷暗所保存)

消防法による危険物区分 非危険物

使用方法

- 1) ペール缶等に練り混ぜ水をはかり採る。
- 2) 気温に応じた量の凝結遅延剤(ジエトセッター)を練り混ぜ水に溶かす。
- 3) 粉体を徐々に練り混ぜ水の中へ投入し、ハンドミキサー(500rpm程度の低回転)で均一に練り混ぜる(約3分)。攪拌羽根はスクリュウ型、かご型を使用する。
- 4) 下地は事前に水打ちを行い、湿潤状態にする。
- 5) 下地にモルタルを3~5mm厚でしごき塗りしてなじませ、可使時間内に所定の厚さで施工する。
- 6) モルタル相互の塗り重ねは、水打ちをした後に行う。

使用上の注意

- 1) 練り混ぜ水は、上水もしくはこれに準じる清水を使用する。
- 2) 規定量以上に凝結遅延剤(ジエトセッター)を添加しても遅延しない。気温に注意して、添加量を守る。
- 3) 練り混ぜが困難になるので、材料の投入順序を変更しない。
- 4) セメント系材料で吸湿性を有するため、袋単位で使用する。
- 5) 一度開封して放置した材料は使用しない。

注意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。